

(様式)

平成 年 月 日

営農計画書

農地法第3条の規定による許可申請に当たって、同条第2項各号に照らした審査に必要な事項を明らかにするため、この営農計画書を提出します。

譲受人(賃借人) 住所
氏名

※署名は自署すること。

1. 農地の利用計画

① 今回、権利を移動又は設定する農地

農地の所在	地番	面積 (m ²)	権利の種類	権利者の氏名	主たる 耕作者の氏名	耕作者との 続柄	栽培予定作物

※欄外にわたる場合は別紙1-①に記入する。採草放牧地の場合は、栽培予定作物の欄に家畜の種類及び頭数を記載する。

② 今回、権利を移動又は設定する農地の設定理由及び経営拡大の目標

③ ①の農地への通作が可能である根拠

通作距離(片道) (km) 交通手段() 所要時間(片道)(時間 分)

通作距離が著しく長い場合の営農が可能である根拠・理由

④ 今回、権利を移動又は設定する農地の利用計画

作付時期(月から)				⑤整備予定の農業機具、施設等			
	作付予定 作物名	作付予定 予定面積 (m ²)	年間予定 収量 (kg)	営農の概要 主な出荷先 販売方法	今後購入する農機具		今後整備する 農業用施設 (整備経費:万円)
					名称	数量	
1年目							
2年目							
3年目 以降							

⑥ 全ての農地における年間収支計画

生産経費:万円	生産収支:万円

⑦ 1-①(今回、耕作する権利を取得する農地)と2-①(既に耕作する権利を有する農地)の合計面積

m²

2. 現在の営農状況

① 既に耕作する権利を有する農地

農地の所在	地番	面積 (㎡)	権利の種類	権利者の氏名	主たる 耕作者の氏名	耕作者との 続柄	栽培作物

※欄外にわたる場合は別紙2-①に記入する。採草放牧地の場合は、栽培作物の欄に家畜の種類及び頭数を記載する。

② 既に耕作する権利を有する農地の利用状況

③ 所有する農業機具、施設等

作付 作物名	作付 面積 (㎡)	年間 収量 (kg)	営農の概要 主な出荷先 販売方法	所有する農業機具		農業用施設
				名称	数量	

④ 権利を有するが、他者に貸している農地

農地の所在	地番	面積 (㎡)	権利の種類	借受者氏名 (小作人氏名)	他者へ農地を貸し付けた経緯 営農の状況(栽培作物)

※欄外にわたる場合は別紙2-④に記入する。

⑤ 過去5年間に売却した農地

農地の所在	地番	面積 (㎡)	農地法第3条 第5条の別	買受者の 利用目的	他者への農地を売却した経緯

※欄外にわたる場合は別紙2-⑤に記入する。

3. 新規就農者の場合の技術習得実績及び計画(新規に農地の権利を取得する者のみ記載する。)

① 農業技術習得実績

習得年数	技術を習得した場所(施設名等)	技術習得の内容

② 農業技術習得計画

習得予定年数	技術を習得予定地(施設名等)	技術習得の内容

③ 就農に際しての借受の状況

融資機関の名称	貸金・事業名	借受金額(万円)

